

2018(平成30)年度-事業目標(基本方針)/事業報告

競技運営委員会

競技運営委員会

事業目標(基本方針)	2018(H30)年度	事業報告	実績	対策
<p>○「競技者が競技力を最大限に発揮できるようベストの環境づくりと競技運営を目指す。」</p> <p>○ 競技規則に基づき各競技会の運営を円滑に推進する。</p>		<p>各都府を中心に目標項目を実施すべく活動</p>		
<p>◇ 審判員</p> <p>(1) 審判技術の更なる向上による信頼性の確保 2020年東京オリンピックに向けたルールの国際化に対応できる競技規則の更なる習得と実技の向上により、信頼される競技運営を目指す。</p> <p>日本陸連主催大会は、陸連競技運営委員会との連携により他県JTOを交えて本県審判員のレベル向上を目指す。</p> <p>(2) 若手審判員(審判員)の確保及び育成 若手審判員(陸連認定審判員有資格者、新B級取得者等)を粘り強く県陸協主催、主管大会に委嘱するとともに、若手審判員などが定着するような運営環境を醸成する。</p> <p>(3) 女性審判員(審判員)の継続的な確保及び育成 女性競技者により良い競技環境構築のため、女性審判員の確保は必須。女性部とも連携し、競技役員委嘱の拡充に努める。また、女性審判員の育成を図る観点から、出席しやすい柔軟的な運営環境を醸成する。</p> <p>(4) 審判委嘱20日前の徹底。</p> <p>(5) 委嘱審判員の見直しと委嘱審判員出席率向上 (出席して頂ける役員にお届け)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ITO指導への対応を含め国際ルールの徹底を図った。</li> <li>・ フィールド・写真判定実技講習会は平塚で実施。</li> <li>・ 国際ルールの理解はできたが、現場での運用にまだ戸惑いがあった。</li> <li>・ 新B級取得者に委嘱を実施が、100%の参加者を目指す努力が必要。</li> <li>・ 各県内で新規メンバーに優しく指導するよう依頼。</li> <li>・ 女性部と連携し、協力して頂けるよう推進。</li> </ul> <p>・ 遅れる部分が多々発生。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内容の濃いものになってきているが、ルールの共通の理解が必要。</li> <li>・ 女性審判員の配置を考えて工夫する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2017年度は必ず実施する。新トランスポータの導入試験</li> <li>・ もっと女性の審判員の活躍の場を広げていきたい。</li> <li>・ 更に計画的に醸成を進める。</li> <li>・ 主任/各都府審判部長と連携を密にし、出席可能者に委嘱。</li> </ul>
<p>◇ 競技場/設備/環境整備</p> <p>○2017(H29)年度の反省を基に以下の項目を行う。</p> <p>(1) 大会要項の見直し、電子化申込の定着を図る。 ・ 競技方法、競技内容、競技実施日の再考を行う。 ・ 電子化等申込の申込内容精度向上を推進する。</p> <p>(2) 新競技会システムの導入 新競技会システムの導入し競技運営レベルの向上を図る。</p> <p>(3) 審判員会議は、注意事項、競技日程、招集時刻等競技者の競技環境に配慮し競技運営にスムーズに行くよう検討する。 ・ 番組編成は公明正大に行い、ミス、訂正の無い完成度の高いプログラム作りを目指す。 ・ 番組編成後「注意事項、競技日程」を速やかにホームページで周知する。</p> <p>(4) 円滑な競技運営 ・ 基本的なミスやトラブルを未然に防ぐ細心の注意を払う。 ・ 事前の関連部署間連携を含めた十分な確認作業の実施。 ・ アクシデント発生時の関連部署間の迅速な連携処置の実施。 ・ 競技会全般を把握し、問題発生時の迅速かつ適切な対応をする。 ・ 明確な判定、正確なリザルトの作成。 ・ ビデオ判定の活用</p> <p>(5) その他 ・ 主催者との事前確認等連携を強化し、円滑な競技会運営を目指す。 ・ 各競技会の反省点、改善点の集約 各部署の反省を当該部署にとどまらず全体的にとらえ、各部署の連携、補助しながら改善策を追求する。 ・ 競技者/審判員の事故防止・安全確保に万全を期す ・ 一年間を通じ、随時、ランキング表のより正確な作成に取り組む。 ・ いろいろな分野で無駄をなくす努力をする。 ・ 諸費用の節約に努める。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内競技会で見直しを実施した。</li> <li>・ 申込を電子化に移行し、ペーパーレス化を図ると同時にプログラム入力作業削減、エラー防止を図った。</li> <li>・ リザルトの配信は早くなった。</li> <li>・ 電子化によりプログラム自体は早く完成するようになったが、タイムテーブルや注意事項の完成に時間がかかっている。</li> <li>・ 競技会開催時主任会議で注意点を確認し徹底を図った。</li> <li>・ 天候急変時関連部署と連携し、競技の中断、再開等の対応を出来るよう備えた。</li> <li>・ 正確なリザルト作成を行った。</li> <li>・ 競技会でビデオ審判の活用を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議日程の縮小化と短時間でのミスのない資料作成。</li> <li>・ 複数の目で確認作業を行っているが、事前の作業がもっと早くできるようになると落ち着いて確認作業ができる。</li> <li>・ 主任者会議の打ち合わせ事項を各部署の審判員に徹底できよう打ち合わせを密にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子化申込の更なる徹底</li> <li>・ 役割分担を明確化し業務の目で確認作業を行う。</li> <li>・ 情報からのデータを事前に入手した上である程度の準備をして、プログラム編成に臨みたい。</li> <li>・ 縦横の連携をより密にする。</li> </ul>
<p>○ 競技運営委員会の業務(仕事内容)の精選と協働を推進。 ・ 競技運営委員会新体制内で役割分担を明確にし、委員会内の協働を図り、委員会メンバーのレベル向上を目指す。 ・ 県陸協ホームページで競技者にとって競技運営面で必要事項を、迅速にUP出来るよう取り組む。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主管大会、運営協力は、関係部署と事前調整を実施。</li> <li>・ 各県の課題事項等を次回及び次年度競技会に活かせるよう報告して頂いた。</li> <li>・ 各競技会で競技者/審判員の安全対策につき注意を喚起した。</li> <li>・ 高体連、中体連との連携を図り記録収集を実施した。</li> <li>・ 必要最小限の費用での委員会運営に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常に新鮮な目で競技会の運営にあたる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員会全員の協力で推進。</li> <li>・ 総務委員会に競技運営関連HP-UP事項を随時送信。</li> <li>・ 次世代へ向けた体制作り。</li> <li>・ 新体制で役割分担を推進</li> </ul>

計画		主管及び		主催等		場所(⇒は変更又は確定)		
月	日	曜日	主催大会	場所	運営協力大会	場所	審判等	
2	14	水					[1]県記録会申込受付開始	委員会・陸協事務局
3	1	木					[1]県記録会申込受付〆切	委員会・陸協事務局
	4	日					新B級審判講習会	等々力競技場
	10~11	土~日					県記録会プロ編成/審判編成	BMW平塚予定
	10~25						地区審判伝達講習会(10会場)	(10会場)
	25	日					競歩審判員研修会	中大付島横浜
						審判部会(大会出欠集約)	陸協事務局	
4	7~8	土~日	[1]県記録会兼団体選考会	三ツ沢				
	14~15	土~日	[1]県記録会兼団体選考会	等々力			関東学生審判編成	等々力
	15	日					少年少女陸上競技研修会記録会審判編成	等々力
5	12~13	土~日	県高校総体	等々力				
	14	月					県選手権申込受付開始	委員会・陸協事務局
	19~20	土~日	県高校総体	三ツ沢			日本学生個人選手権審判編成	等々力
	23	水					県選手権申込受付〆切	委員会・陸協事務局
	24~27	木~日			関東学生対校選手権	ギオン		ギオン
6	3	日					県選手権プロ編成/県選手権審判編成/日清小学生選手権審判編成	平塚予定
	3	日	少年少女陸上競技研修会記録会	BMW平塚			日本学生個人選手権主任者会議	BMW平塚
	15~17	金~日			日本学生個人選手権	BMW平塚		
	23~24	土	県選手権兼団体選考会	三ツ沢			実業団対学生審判編成	三ツ沢
	30	日	県選手権兼団体選考会	BMW平塚				
7	2	月					[2]県記録会申込受付開始	委員会・陸協事務局
	7	土	日清カップ全国小学生交流大会県予選	BMW平塚			[2]県記録会・国体選考会・審判編成/全国小学生選手権編成/審判部会	BMW平塚
	11	水					[2]県記録会申込受付〆切	委員会・陸協事務局
	21	土			実業団対学生	BMW平塚		
	21~22	土~日					[2]県記録会・国体選考会・プロ編成・審判編成	平塚予定
8	10~12	金~日	[2]県記録会・国体選考会	三ツ沢			全国小学生プロ編成・プロ印刷原稿作成	
	12	日					関東学生新人審判編成	
	17	金					全国小学生主任者会議	三ツ沢
	18	土			全国小学生陸上	日産		日産
	25	土	ジュニアオリンピック選考会	三ツ沢				三ツ沢
	27	月					県長距離記録会申込受付開始	委員会・陸協事務局
9	3	月					県長距離記録会審判編成	委員会・陸協事務局
	4	火					ジュニアオリンピック申込〆切	委員会・陸協事務局
	7~9	金~日			日本学生対校選手権	等々力		
	10	月					県長距離記録会申込受付〆切	委員会・陸協事務局
	14~16	土~祝月			関東学生新人	ギオン(後部)		
	14~16	金~日					ジュニアオリンピック資格審査・プロ編成/審判編成	日産
30	日					ジュニアオリンピック事前準備/主任者会議	日産	
10	6	土	県長距離記録会・小学生交流研修会	BMW平塚				
	11	木					ジュニアオリンピック前日準備	日産
	12~14	金~日			ジュニアオリンピック	日産		
11		木					箱根駅伝審判編成	陸協事務局
	10~11	土~日	県高校選成記録会	不入斗				
		土~日	全国都道府県対抗駅伝選考会	三ツ沢			日本陸連研修会	
12							箱根駅伝都市代表者会議	県内会場(横浜)
							S級審判昇格推薦〆切	陸協事務局
							S級審判昇格審査会	陸協事務局
1	2~3	火~水			関東大学駅伝	東京箱根		
		水					A級公認審判員昇格者推薦〆切	
	26	土					かながわ駅伝資格審査	陸協事務局
	26	土					A級公認審判員昇格者審査	BMW平塚や球場
	26	土					審判部会(A級公認審判員昇格審査)・都府審判部長会議	BMW平塚野球場
	27	日					競技運営部長会議	
	27	日					2017年20傑(ランキング)編纂作業/競技運営委員会	金沢総合高
2	10	日	かながわ駅伝(予定)	善野~相模原				
	9~10	土~日					全国競技運営責任者会議	味の素NTC
	21	木					[1]県記録会申込受付開始	委員会・陸協事務局
	21	木					審判部会	陸協事務局
	24	日					フィールド審判員/写真判定員等研修会	BMW平塚
3	3	日					新B級審判講習会	等々力競技場
	7	木					[1]県記録会申込受付〆切	委員会・陸協事務局
	10	日					新B級審判講習会	平塚体育館A会議室
	16~17	土~日					[1]県記録会プロ編成/審判編成	横浜国大高・金沢総合高
	10~25						地区審判伝達講習会(10会場)	(10会場)

○定常的諸活動の実施

審判部	新B級審判実技講習会([1]県記録会・県選手権・[2]県記録会)	競技部	県内公認競技会日程の陸連申請	
	委員会・主任会・必要に応じて開催		主催大会の大会要項/競技日程/注意事項編纂	
	審判編成および委嘱作業		記録部	県内開催公認競技会の記録陸連公認申請
	審判手続新規作成更新作業		情報処理部	主催/運営協力大会のデータ整備等競技会準備